

巻末特典

未公開原稿

あなたの可能性を最大化する

「ふせんマップ」三兄弟



埋もれた宝を発掘する 「ふせんマップ三兄弟」

スマホやパソコンで世界中をネットサーフィンして検索したところで、新しいアイデアは何も生まれません。

なぜなら「アイデア」とは、「気付き」や「ひらめき」をジグソーパズルのように組み合わせながら、私達人間の想像力や創造力、そして行動から生まれてくるものだからです。

つまりアイデアは、外から与えられるのではなく、自分で実感して、熱意や情熱を持って追い求めることを通じて、私達の内側から生まれてくるものなのです。それがイノベーションにつながり、思いもよらない未来が開ける。

一人一人の幸せな未来も同じです。

頭によぎったイメージと、それを実現したいという内側からの欲求（動機）、そしてそのための行動がすべて揃って初めて生まれてくるのです。

これが何を意味するか、もうお気付きですね。

どんなに外側の世界を探しまわっても、あなたが探し求めている宝物は見つからないということ。

スマホやパソコンを使って検索して見つけた情報や、誰かが発信した情報はヒントになりますが、その中に宝物は眠っていないのです。

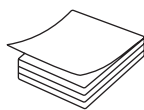
つまり、宝物は外側にあるのではなく、あなたの内側にあるということ。

そして、あなたの内側に隠されている宝物を探すためのツールこそが、ふせんマップ三兄弟です。

ふせんマップ三兄弟とは、ふせんを使って3大アイデア発想法を串刺しにしたツールのこと。

具体的には、ふせん版マンダラチャートである「マンダラふせんマップ」、ふせん版KJ法である「KJふせんマップ」、ふせん版ストーリーマップである「ストーリーふせんマップ」の3つから構成されています。

順に見ていきましょう。



1つの卵から8つのアイデアが 生まれるスゴ技

マンダラチャートは、松村寧雄氏が開発されたアイデア思考法です。9つの正方形のセル（ 3×3 のマス）を作って、真ん中のセルにテーマを書きます。

そのテーマを囲む8つのセルにテーマから連想されるキーワードやアイデアを埋めていき、半強制的に思考をストレッチするというメソッドです。

このマンダラチャートとふせんノート術とは相性が抜群です。A4ノートの後ろのページをマンダラチャート用の「アイデアページ」として使い、そのページの見開きA3紙面中央付近にメモ済みふせんを1枚貼りつけます。

新たなテーマを書いて貼っても構いません。元祖マンダラチャートでは、この周辺に8つのマスをイメージして、真ん中のテーマから連想されるキーワードを埋めていく方法をとります。

でも、ふせんノート版の「マンダラふせんマップ」では、さらに1歩進めて中央に貼ったテーマふせんの周囲に8枚の白紙のふせんを貼り付けます。

その8枚のふせんにテーマから連想されるキーワードを書いていくのです。

さて、ここからが「マンダラふせんマップ」の本領発揮です。

その8枚の中で、さらに思考を展開したり掘り下げたりできそうなふせんをピックアップして、前後のページに貼り付けます。

そして、同要領でその周囲に更に8枚の白紙のふせんを貼り付けてキーワー

マンダラふせんマップ イメージ図

手帳の中に、別冊のメモ帳を追加してはさんではどうだろうか？	ロディアブロックを別冊手帳として使う？あるいは、付箋をメモ帳代わりに使う？	いっその事、フォーマットが自由なノートを手帳に転用してはどうだろうか？	机上の紙切れに、とっさに走り書きしたものを手帳やノートに一元化できないか？	スマホのメモアプリに入力することも1つの手段？
ほぼ日手帳のような厚めの手帳はどうだろうか？	F手帳の短所 紙面が小さくてメモ欄がすぐに一杯になる	G手帳の短所 フォーマットが決まっているので融通が効かない	H手帳の短所 とっさにメモしたい時に持ちあわせているとは限らない	デスクだけではなく、財布、鞆、車、トイレ、ベッドetc.あらゆる場所にメモを用意
ビジネスダイアリー等の大きな手帳ではどうだろうか？	B手帳の短所 紙面が小さいので一覧できない	【テーマ】 手帳をもっと使いやすくできないか？	D手帳の短所 業務用ノートにメモを転記するのが面倒	手帳のメモを切り取ってノートに貼り付けるか？
資料をそのままはさめられるA4ノートを活用できないか？	E手帳の短所 資料をはさみこめない	A手帳の長所 小型で持ち運びしやすい	I手帳の短所 スケジュール管理が面倒	スケジュール管理はクラウド化できないか？
折り畳んではどうだろうか？⇒開かないと一覧できないので、何の資料かわからない	縮小コピーはどうだろうか？⇒いちいちコピー倍率計算して、切り抜くのも面倒だ	ロディアNo.11や付箋(75×75)のように小型で持ち運びしやすいものが良い	グーグルカレンダーは便利だが、とっさに閲覧できないし、即メモできない	クラウド化するとチームメンバー全員で予定を共有できる。

ドを書きます。

そうすることで、事実上無限に思考の深掘りと拡散ができるというカラクリです。

また、変化形として、8枚のふせんの周囲にさらに白紙のふせん16枚を貼り付ける方法もあります。



貼り替えてグループ分けすると アイデアが加速する

標準的なマンダラチャートではここで「アイデア抽出作業」が終わります。しかし、ふせんノート術ではここからターボがかかります。

マンダラふせんマップにてアウトプットされた「アイデアの素」を、今度は「KJ法」を使って串刺しにしていくのです。

KJ法とは、文化人類学者の川喜田二郎氏がデータをまとめるために考案した発想法です。

小型のカードにキーワードを書き込んで、これを並べ替えたり組み合わせながら「思いつき」のきっかけを創りだします。ふせんノート術では、「マンダラふせんマップ」で使ったふせんをそのままKJ法で再利用します。

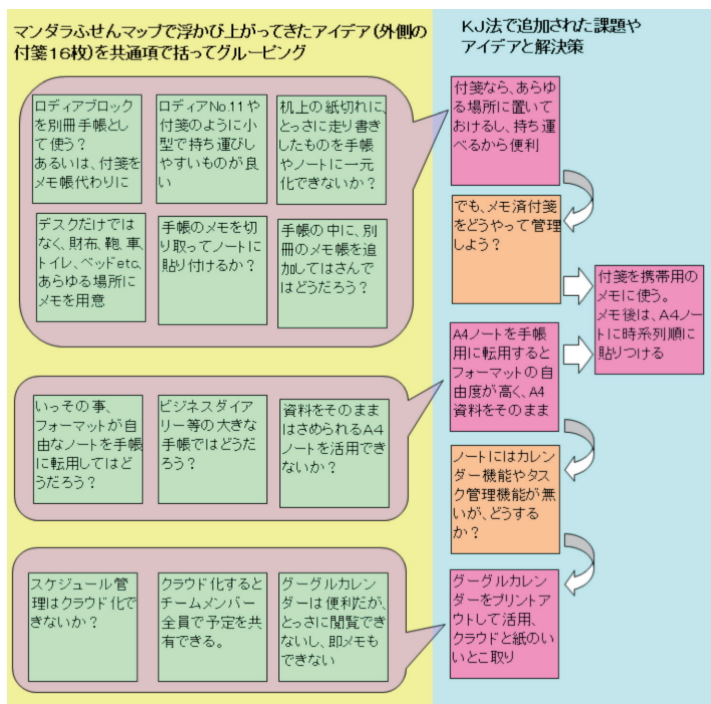
ふせんノート版KJ法では、まずは関連性のあるふせん同士をグルーピングします。そして、切り口を変えて揺さぶりをかけながら思考を四方八方に膨らませていきます。

具体的には、複数のふせんをグルーピングすると、新しい発想が生まれやすくなります。そこに、他のグルーピングから生まれた別の切り口での課題やアイデアを組み合わせることができるので、9ページのKJ法イメージ図のように思考が展開していく、というわけです。

こうして脳みそに揺さぶりをかけながら、新しい着想が浮かんだら、新しいふせんにさらにキーワードを書いて追加します。ここでふせんの色を変えるところを過程を振り返りやすくなります。

「KJ法」にて串刺しにされる「ネタ」は、「マンダラふせんマップ」上の思考

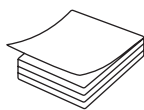
KJ 法 イメージ図



の連鎖によって抽出されてきた密度の高いキーワードばかりです。

具体的には、「マンダラふせんマップ」では、連想ゲームのように外へ外へと無限に広がる思考の連鎖の効能で、6ページのマンダラマップのように「新しいネタ」がどんどん増えていきます。こうして膨らんだアイデアが、今度は9ページ図の「KJ法」のように濃縮還元されて、そこから新たな気付きや課題や解決策が生まれていくわけです。

このように、「マンダラチャート」と「KJ法」という二大アイデア発想法から立て続けに洗礼を受けるわけですから、いやでも濃厚なアイデアが飛び出します。



アイデアを好きに並べ替えて 組み合わせられるのは「ふせんノート」だけ

KJ法もマンダラチャートも、どちらも有名なアイデア発想法ですが、ウィークポイントもあります。

例えば、カードを使うKJ法では、カードがバラバラになりやすく管理が面倒

です。グルーピングした状態を保存するためには、写真を撮るしかありません。また、紙にペンで書く一般的なマンダラチャートでは、並べ替えたり組み替えたりができないので、組合せやグルーピングに限界があります。

この点、ふせんであれば、そうした制約は一切なくなります。紙面に貼った状態を半永久的に保存できますし、並べ替えや追加も自由自在です。

しかも、「ひらめく」のは作業シートに向き合っている時とは限りません。

席を立ってトイレに行った時やノートを疊んで外出した時に、流れ星のように現れて瞬時に消え失せる。それがひらめきの特徴です。

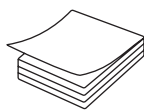
そんな神出鬼没のひらめきを生け捕りできるのは、探偵のように「はりこみ」上手な「ふせん」だけです。

後は席に戻ってから、その「ひらめき」を作業シートに貼るだけです。

ちなみにふせんマップは、ホワイトボードやA3用紙の上でも作業ができます。ただ、ホワイトボードをいつまでもふせんで占拠することはできません。

A3用紙も保管しづらく紛失リスクもつきまといまう。その点A4ノートならページを閉じることで作業状態をそのまま保存できます。

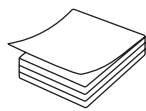
こうして浮かんできたキーワードを、この後お話しする「ストーリーふせんマップ」につなげるだけで、企画書とか報告書といった「形」で整えることができます。



企画書やレポートが 自動的にできあがる不思議

「ストーリーふせんマップ」を使うと、企画書などのレポートを簡単に作れるようになります。

レポートを作成する目的は、あなたの企画や提案を、上司や本部、お取引先等に明快に理解していただくこと。そのためには、ポイントを分かりやすく整然とまとめなければなりません。



ストーリーふせんマップは、 あなた専属の自動書記

もう少し具体的にお話ししましょう。

まず最初に、ストーリーふせんマップ用のノートの後ろのページに、テーマとなるふせんメモを貼りつけます。

通常は「マンダラふせんマップ」と「KJふせんマップ」で使ったテーマを流用します。

この2つの作業で使ったふせんを『テーマ』『結論』『理由』『背景・ニーズ』

具体的には、(1) テーマ(件名)、(2) 結論、(3) 理由の3点は必須でしょう。レポートを書く順序もこの順序です。

従って、ふせんについても(1) テーマ、(2) 結論、(3) 理由という順番でノート紙面へ貼り付けていくことになります。

案件によっては、前提条件や参考データ、経緯・背景といった項目も付け加えます。雑音となる余計な情報は大胆に切り捨ててください。

といった項目で順番にグルーピングしながら貼り付けます。

さらに、A4ノートの他の紙面に並んでいるふせんメモの中から、そのテーマに関連しそうなものを持ってきて貼りつけます。

実際にやってみるとよく分かるのですが、この作業自体はシンプルです。

ふせんの内容を1枚1枚見ながら、どの項目に当たるかを判断して、機械的に振り分けて貼るだけで完成するからです。

あとは、『テーマ』『結論』『理由』の順番に、ふせんの内容をパソコンに打ち込んでいくだけでレポートが完成する、という仕掛けです。

なんだか、狐につままれたみたいですね。

本来なら、レポート作成は面倒な作業です。

レポートを作ったことがある方であれば誰もが経験しますが、どのような構成にすべきか、何を書くべきか、悩みに悩み抜きます。

気分が乗らず先延ばししてしまい、そのうち億劫になってサボってしまいうす。私は数えきれないくらいサボってきました。

でも「ストーリーふせんマップ」さえあれば、手間を掛けずにレポートが出来

ストーリーふせんマップ イメージ図

【テーマ】

【テーマ】

手帳をもっと使
いやすくできない
か？

【結論】

付箋を携帯用の
メモに使う。
メモ後は、A4ノー
トに時系列順に
貼りつける

【メリット】

付箋なら、あらゆる
場所に置いて
おけるし、持ち運
べるから便利

A4ノートを手帳
用に転用すると
フォーマットの自
由度が高く、A4
資料をそのまま

グーグルカレン
ダーをプリントア
ウトして活用、
クラウドと紙のい
いとこ取り

【ニーズ】

いっその事、
フォーマットが自
由なノートを手帳
に転用してはど
うだろう？

ロディアNo.11や
付箋のように小
型で持ち運びし
やすいものが良
い

机上の紙切れに
とっさに走り書き
したものを手帳
やノートに一元
化できないか？

デスクだけでは
なく、財布、鞆、車
トイレ、ベッドetc、
あらゆる場所に
メモを用意

ロディアブロック
を別冊手帳とし
て使う？
あるいは、付箋を
メモ帳代わりに

手帳のメモを切
り取ってノートに
貼り付けるか？

資料をそのまま
はさめられるA4
ノートを活用でき
ないか？

スケジュール管
理はクラウド化で
きないか？

クラウド化すると
チームメンバー
全員で予定を共
有できる。

グーグルカレン
ダーは便利だが、
とっさに閲覧でき
ないし、即メモも
できない

上がります。

私自身も、この「ストーリーふせんマップ」にはお世話になりました。

職場では、多くのクライアントを抱えて数十名の部下とともに七転八起する毎日でした。

前向きの大口商談から始まって、情報漏洩や社損に繋がる事故に至るまで、雑多な出来事が日々駆け抜けていく。

そんな中で、それらを迅速的確に処理し、てんまつを上層部に報告し、あるいは業務計画を練り上げてきました。

「ストーリーふせんマップ」のおかげです。

『いますぐ妻を社長にしなさい』の執筆の際も、「ストーリーふせんマップ」を応用して目次を作りました。

読者の皆さんからいただいた感想の中で一番多かったのは「とても読みやすかった」というものですが、ふせんの並べ替えを通じてストーリー展開を工夫できたことが功を奏したのかもしれない。

書籍執筆にあたって作ったマップの写真

